

兵動大樹の今昔さんぽ

桜井談山神社・蹴鞠

令和5年（2023）4月28日放送

兵動大樹の今昔さんぽ

時代と共に移り変わる風景 兵動大樹が昔の写真を手に関西の街の「今と昔」を比べながら散策して、今昔同じところで写真を撮る番組です。

今回は奈良県近鉄飛鳥駅を出発して昭和37年（1962）の蹴鞠の写真（右下の写真）を手にして、談山神社まで向かう。

地元で蹴鞠と言えば飛鳥寺と談山神社が有名。

飛鳥寺：西暦596年に豪族・曾我馬子が創建した日本最古の寺院。本堂に日本最古の仏像飛鳥大仏が祀られている。

住職の話では、大化の改新（645）中大兄皇子と中臣鎌足が豪族である曾我氏を滅ぼし政治改革に着手したが、主役の二人が初めて出合ったのが飛鳥寺の槻の木で広場で行われた「蹴鞠」の場であった。

「飛鳥蹴鞠」は武術の鍛錬のために行われていた。

写真の蹴鞠は貴族の御遊びのような服装であり談山神社で撮られたものである。

談山神社は中大兄皇子と中臣鎌足が大化の改新の計画を話し合い、談合を行った場所として知られている。

写真は談山神社で毎年春と秋に行われている「けまり祭り」の写真で平安時代以降にお公家さんの間ではやった優雅な「京都蹴鞠」である。



番組風景



昭和37年（1962）11月11日

談山神社 けまり祭り

写真撮影：岡田庄三氏

掲載の写真は奈良県立図書館今昔WEBより